

福岡県医第 1130 号 (総)

平成 19 年 10 月 1 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公印省略)

平成 19 年度「医科器械史研究賞」受賞候補者の推薦について

標記につきまして、財団法人日本医科器械資料保存協会より推薦方依頼がありました。

本研究賞は、医科器械史の研究を奨励するために設けられ、優れた研究者に贈呈されるものです。

つきましては、別添規定に該当される方がありましたら 11 月 12 日(月)までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、

1. 福岡県医師会の推薦者は 1 名となっております。
2. 推薦される場合は、あらかじめ電話等でご連絡願います。
「候補者推薦書」をお送りいたします。
3. 該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。

平成19年9月

日本医学会分科会長 殿
大学医学部長 殿
医科大学長 殿
大学附属研究所長(医系) 殿
都道府県医師会長 殿
国公立博物館長 殿
関係機関長 殿

財団法人 日本医科器械資料保存協会

理事長 酒 井 シ ヅ

平成19年度「医科器械史研究賞」受賞候補者の推薦依頼について

財団法人 日本医科器械資料保存協会は、歴史的に重要な意義をもつ医科器械を収集し、これを医科器械の開発・改良の研究に資するための資料として保存し、医科器械に関連する科学および技術の進歩に貢献することを目的として、日本医科器械学会（日本医学会第34分科会）が昭和59年（1984）に設立した財団であります。

同財団は、平成4年から、本協会の目的を達成するための事業の一つとして、医科器械史の研究に優れた業績をあげた研究者に医科器械史研究賞を贈呈しています。つきましては別紙要項により平成19年度の候補者を募集いたしますので、貴機関から候補者1名をご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお本研究賞は、貴機関（等）から推薦された候補者のほか、自ら申請した候補者も選考の対象といたしますので、本研究賞について貴機関構成員各位に周知していただきたく、併せてお願い申し上げます。



平成19年9月

平成19年度（第16回）

「医科器械史研究賞」および「青木賞」受賞候補者の募集要項

財団法人 日本医科器械資料保存協会

1. 本賞の意義

本協会は歴史的意義を有する医科器械を収集し、これを医科器械の開発・改良の研究資料として保存し、医科器械に関する科学技術の進歩に貢献することを目的として、日本医科器械学会が昭和59年に設立した財団であります。「医科器械史研究賞」は医科器械史の研究を奨励するために、平成4年から本協会の事業の一つとして、優れた研究者に贈呈してきました。また本協会の設立に大いに寄与された青木利三郎氏を記念して設けられた「青木賞」が、平成9年から優れた研究者に奨励賞として贈られています。

2. 応募資格

すでに顕著な業績をおさめた医科器械（ただし、理化学器械、薬科器械、歯科器械に関する研究は除く）に関する研究者で別記の推薦者（団体）から推薦された者、および自薦者。

3. 「医科器械史研究賞」

本賞は賞状とし、副賞として賞金を贈呈します。なお、賞金の総額は100万円が計上されています。「医科器械史研究賞」選考委員会が推薦した候補者の中から受賞者を本協会理事会で決定し、賞金額を決定します。

4. 「青木賞」

上記の応募者の中から将来が期待される研究と認められた研究者に対して、奨励賞として賞状と副賞が贈られます。

5. 募集方法

規定の用紙に推薦対象となる受賞候補者の研究題目、推薦（申請）理由、略歴などを記入し、主な論文（10編以内）を添えて、協会事務局に送付してください。

6. 推薦

推薦団体は医学会分科会、大学医学部、医系大学ならびに医系付属施設、日本医師会、都道府県医師会、国公立博物館、指定の関係機関および所属機関の長とします。なお、自薦による応募もできます。

7. 推薦又は申請の方法

1) 推薦書又は申請書

本協会の所定の推薦/申請用紙を使用して、必要事項を黒色インク又はパソコンを用いて記入し、本協会事務所に送付していただきます。

2) 参考資料添付（必須）

候補者の研究実績を示す参考資料として、その研究についての候補者の自著の論文又は著述の別刷又はコピーを添付していただきます。参考資料の添付のない推薦又は申請は受理いたしません。

8. 推薦又は申請の締切日

平成19年11月16日(金)午後5時(必着)といたします。

9. 選考の方法及び受賞者の決定通知

本協会に設置する「医科器械史研究賞」候補者選考委員会の審査に基づいて、推薦又は申請の採否及び採択された候補者に対する研究賞の交付金額を本協会理事会が決定し、平成20年1月下旬(予定)までに推薦者又は申請者に文書で通知いたします。

10. 受賞者の方へ

- 1) 研究賞は、第83回日本医療機器学会大会で受賞者に贈呈いたします。
- 2) 受賞した業績の内容を日本医療機器学会の機関誌「医療機器学」に掲載するため、同誌の「原著」の投稿規定に従って作成した原稿を所定の期日までに提出していただきます。贈呈の日時等は追って通知いたします。
- 3) 受賞した業績について、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間に行った研究の実施状況の報告を、平成21年5月31日までに提出していただきます。この報告には研究賞の会計処理の状況を含み、前記の期間中の研究賞金の支出についての納品書、請求書及び領収書等を添付していただきます。

11. 推薦書/申請書送付先及び連絡先

推薦書類又は申請書類の送付先及び連絡先は下記にお願いいたします。

財団法人 日本医科器械資料保存協会

「医科器械史研究賞」係 あて

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目39番15号

医科器械会館4階 日本医療機器学会内

☎ (03) 3813-1062

推薦書又は申請書の用紙が必要な場合は、80円切手を同封して前記宛先に請求してください。

整 理 番 号

平成19年度

「医科器械史研究賞」候補推薦応募用紙

推薦者 申請 [一方を消して ください。]	氏 名	印
	職 業	
	住 所	

(自己申請の場合はご自分のお名前と住所を明記して押印してください。)

研 究 課 題			
主任研究者		共同研究者	
[実際の主任研究者を お書きください。]		[共同研究者がある場合 だけ記入してください。]	
(ふりがな) 氏 名		(ふりがな) 氏 名	
(年 月 日生, 歳)			
職 業 (所屬と 地 位)		職 業 (所屬と 地 位)	
住 所			
推 薦 [一方を消して] 申 請 [ください。] 理 由			

- (お 願 い)
1. お手数ですが、推薦/申請書は同一のものを必ず5通一括してお送りください。(複写的な方法を利用されても) 鮮明であれば結構です。
 2. 文章は平易に、文字は明確にご記入ください。
 3. 参考資料は、同文のものを5部お付けください。ただし、選考が終わっても返却のご希望には応じかねます。

研究業績の大要

参考資料一覧（題目，掲載誌名，巻：頁など）

〔参考資料と業績内容との関係について
説明が必要であれば記入してください。〕

（スペースが足りない場合は、貼り足してください。）

主任研究者の略歴 (主な事柄だけで結構です。この研究課題について、他の助成などを受けている場合は、その年度・課題名・助成団体名などをご記入ください。)

「医科器械史研究賞」候補者募集に関する要項は次の通りです。

1. この募集の対象となる候補者は、医科器械の歴史に関する研究について公表された業績を有する個人、グループまたは団体とします。
2. 対象となる研究は、公表された実績のある研究に限ります。これから着手される研究は対象としません。また著しく歯科又は薬科の領域に偏る器械の歴史及び本来は理化学器械であったが、医科の領域でも利用された器械の歴史に関する研究は対象としません。
3. 応募は関係所属団体の長の推薦でも、自己申請でも結構です。募集要項を精読し、平成19年度「医科器械史研究賞」候補推薦／申請応募用紙により応募してください。

候補者の研究実績を示す参考資料として、その研究についての候補者の自著の論文又は著述の別刷又はコピーを必ず添付してください。参考資料の添付のない推薦又は申請は受け付けませんので注意してください。

4. 本協会に設置する選考委員会が、候補者の研究業績について学界各方面の意見を聞いて審査し、選考委員会の審査結果に基づいて、本協会理事会が採否を決定いたします。
5. 採択された候補者に対する研究賞の交付金額は、選考委員会の審査結果に基づいて、本協会理事会が決定いたします。